

**製品名: TFIIH p44 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18832**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	62kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GTF2H2 GTF2H2; BTF2P44; General transcription factor IIH subunit 2; Basic transcription factor 2 44
別名	kDa subunit; BTF2 p44; General transcription factor IIH polypeptide 2; TFIIH basal transcription factor complex p44 subunit
遺伝子 ID	2966.0
SwissProt ID	Q13888
免疫原	抗血清はヒト TF2H2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

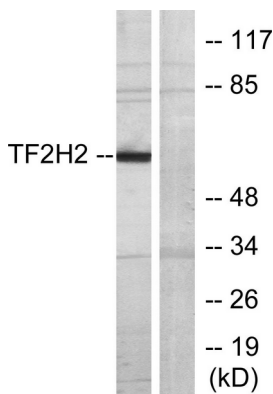
**背景**

この遺伝子は、染色体 5q13 上の 500 kb の逆位重複の一部です。この重複領域には、少なくとも 4 つの遺伝子と反復要素が含まれており、再編成や欠失を起こしやすくなっています。配列の反復性と複雑さにより、このゲノム領域の構成を決定することも困難になっています。この遺伝子は、重複のテロメアコピー内にあります。脊髄性筋萎縮症 (SMA) 患者では、この遺伝子の欠失は隣接する SMN1 遺伝子の欠失を伴うことがあります。この遺伝子の欠失が SMA 表現型に寄与するかどうかは不明です。この遺伝子は、基礎転写とヌクレオチド除去修復に関与する RNA ポリメラーゼ II 転写開始因子 IIIH の 44 kDa サブユニットをコードしています。この遺伝子の転写バリエーションが記載されていますが、その完全長の性質は決定されていません。代替産物の 2 番目のコピー: いくつかのアイソフォームが生成される場合があります。アイソフォームは不完全な遺伝子重複によっても生成される可能性があります。機能:コア TFIIH 基礎転写因子の構成要素で、DNA のヌクレオチド除去修復 (NER) に関与し、CAK と複合した場合は RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写にも関与します。機能:コア TFIIH 基礎転写因子の構成要素で、DNA のヌクレオチド除去修復 (NER) に関与し、CAK と複合した場合は RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写にも関与します。N 末端は XPD と相互作用して XPD を制御しますが、RNAP II がプロモーターから正常に脱出するには C 末端が損傷されていない必要があります。類似性:GTF2H2 ファミリーに属します。類似性:1 つの VWFA ドメインを含みます。サブユニット:コア TFIIH 基礎転写因子を形成する 6 つのサブユニットの 1 つ。XPB、XPD、GTF2H1、GTF2H3 と相互作用します。組織特異性:広く発現しており、骨格筋でより高い発現を示します。、

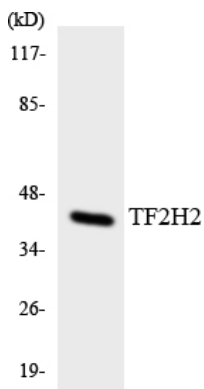
## 研究分野

基礎転写因子;ヌクレオチド除去修復;

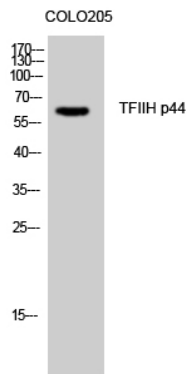
## 画像データ



COLO205 細胞ライセートの TF2H2 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



TF2H2 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TFIIH p44 ポリクローナル抗体を使用した COLO205 細胞のウェスタン ブロット分析。